

あの頃の津山

京町のだんじり

(昭和初期)

写真提供・江見写真館



現在の鶴山通り京町交差点付近



平成25年10月の津山まつりに
出動した京町のだんじり

写真は、昭和初期の秋に行われた徳守神社の祭礼の際、出動した京町のだんじりの様子を、現在の鶴山通りの京町交差点付近で、伏見町方面に向けて撮ったものと思われまます。

京町のだんじりは「紅葉臺」と呼ばれ、文久年間（1861～1864年）に作られたといわれています。現在、徳守神社や大隅神社の祭礼の際に出動するだんじりの多くは県指定重要有形民俗文化財となっていて、この京町のだんじりもその一つに指定されています。

写真中央手前には、引き手と思われる人たちが手拭いを被り、着流しに草履という装いをしています。現在は、法被に白股引という衣装でだんじりを引いているので、当時は随分様子が変わっています。

写真中央に見えるだんじりには、たくさん子どもたちが乗っていて、元気な掛け声を町中に響かせて祭りを盛り上げていたことと思われます。昭和の初めごろの津山の秋祭りの様子を今に伝える貴重な一枚です。

このコーナーに掲載する懐かしい津山の写真を募集しています

岡津山郷土博物館
☎22・4567



長女の七五三の前撮りの時、行儀良く椅子に座り、髪型を整えてもらう姿を見て、ここまでよく成長したなあと感じ深い気持ちになりました。それともう一つ驚いたことが、店員さんの「ごんなお子さんでも笑顔にしてみせます！」という言葉。有言実行でした。わたしにもあの技術があれば…(W)

今月号の表紙の写真に影響され、初めてぶどう狩りに行ってきました。まず最初に驚いたのは、一本の木にたくさんぶどうが実っていたことです。そして次に驚いたのは、たくさん房の中からひとつを選ばないわたしの優柔不断さです。結局、大きい房のぶどうを選んだ食いしん坊なわたし…(雨)

ある朝、娘を起こそうとしたら「まだ眠いよ」と返事をしながら、布団に潜り込んでしまいました。あと5分間だけ寝かせてあげることにして、そばで横になって考え事していると「いつまで寝ているの!」という妻の声が目覚め、時計を見てびっくり! 30分以上も一緒に寝ていました。(笑)

今月の表紙

つやま援農塾実践講座
ピオーネ収穫作業
9月3日
まほろファーム(野村)

編集・発行 (毎月10日発行)

津山市総合企画部秘書広報室(市役所3階) 〒708-8501 岡山県津山市山北520番地

☎0868-32-2029 ㊚0868-32-2152 ㊜kouhou@city.tsuyama.okayama.jp

☆広報つやまはホームページ
で閲覧できます

<https://www.city.tsuyama.lg.jp/>



津山市ホームページ版

☆秘書広報室のフェイスブック
はこちらから
<https://www.facebook.com/city.tsuyama.kouhou>



秘書広報室フェイスブック



広報つやまは、環境保護のため再生紙と大豆油インキを使用しています。読み終えた後はリサイクル(雑誌)にご協力ください